



ワンフェスユース2023メインビジュアルデザイン
パーキーバット・デザインズ 前田慎一

実施報告書

2024年3月作成
特定非営利活動法人関西NGO協議会

ワンフェスユースとは 日本最大級の高校生による 国際協力・SDGs・多文化共生 フェスティバル

日ごろさまざまな視点から取り組まれている、国際協力・SDGs・多文化共生という分野。その社会課題について知るだけでなく、解決に向けて何かアクションを起こしたいという若者が増えています。ワン・ワールド・フェスティバル for Youth(ワンフェスユース)は、そんなユースのための国際協力フェスティバルです。

🌟 事業背景

グローバル化が進み相互依存が深まる今日、私たちの生活は国境を越えて人々の生命や生活に深刻な影響を及ぼしています。貧困・飢餓・環境破壊・自然災害・感染症・紛争などの問題は、もはや国際的な課題となっています。

そのなかで、早い段階から国際的な視野を持ち、世界が抱える課題に向き合い、柔軟で斬新な発想をもって解決に向けて行動を起こす仲間の育成が求められています。

すでに、国際理解教育が取り入れられている高校もありますが、学習の成果や研究課題について発表し学習内容を共有できるような横断的なイベントは全国的にも見られません。同時に、高校生と国際協力分野に携わる様々なセクター（外務省、JICA、企業、自治体、教育機関、NGOなど）をつなげ、情報共有や情報交換の場を若い世代に提供することも重要な課題だと考えています。

🌟 前年度までの事業成果

高校生実行委員に参加し、
企画運営に深く携わった高校生の人数
(2014年～2022年度)
延べ **181名**

ワンフェスユース参加者累計
(2014年～2022年度)
延べ **3万3300名** 以上

ワンフェスユース参加者累計
(2014年～2022年度)
延べ **3万3300名** 以上

😊 事業目的

- 1) 世界的な視野を持ち、社会課題の解決のために行動する次世代（ユース）の育成
- 2) SDGs達成の重要なアクターであるユースと国際協力分野のネットワークの強化および連携の促進

これからの将来、より充実した国際協力活動を展開するためには、若い世代の理解と参加が必要不可欠です。各セクターの連携や協働も、ますます重要な課題となります。ワンフェスユースを通じて、高校生という時期から世界的な視野で社会課題を分析する力を育てることで、国際協力への理解と参加を促します。また、高校生など若い世代を中心とした意見交換・情報交換・発表の機会をつくり、国際協力やSDGsの推進に関わる様々なつながる場を通じて社会全体のエンパワーメントにつなげます。さらにワンフェスユースでは、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利で構成された「子どもの権利条約」に基づいたイベント運営を行い、その権利が尊重される社会を目指しています。

2023年度開催結果



2023年度の開催テーマは「響き渡れ、多彩な音色」です。

“ワンフェスユースで、一人ひとりの未来ある個性が社会問題を解決する力を持っている、という気づきをユースである私たちから広げていきたい。

音があるから音楽があるように、あなたがいるから社会がある。音楽がたくさん音色（個性）が共存し響き渡るから美しくなるように、互いの個性を認め合い、より良い社会を創るムーブメントを起こしていきたい。”

そんな高校生実行委員の思いが込められています。

開催日時	2023年12月17日（日） 11:00～16:00		
開催形式	会場 大阪YMCA（大阪市西区土佐堀1-5-6） 一部プログラムをオンライン配信		
総来場者数	270名	参加高校数	30校
ボランティア参加	32名（高校生 25名・大学生 7名）		
出展数	プログラム 16団体、ブース 18団体		
プログラム参加者数	延べ540名		
主催	特定非営利活動法人 関西NGO協議会		
協力	公益財団法人大阪YMCA、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2023高校生実行委員会、ワン・ワールド・フェスティバル for Youthアドバイザーグループ、ワンフェスユースOV会		
後援	外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、開発教育協会（DEAR）、朝日新聞社、関西SDGsプラットフォーム		
指定寄付	近畿ろうきん・社会貢献預金（笑顔プラス）		
協賛	真如苑、音羽山 清水寺、株式会社オルタナティブツアー、リタワークス株式会社、コングラント株式会社、一般社団法人EIGC、日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）		
助成	独立行政法人環境再生保全機構（ユース提言チーム）、公益財団法人庭野平和財団、公益財団法人大阪コミュニティ財団江田直介・静子健やかな青少年育成基金		
メインビジュアルデザイン	パーキーパット・デザインズ 前田慎一		

😊 プログラム出展一覧

時間	場所	プログラム名	出展団体	参加者(ワライン参加)
11:00～11:05	101教室	開会あいさつ	高校生実行委員会	45名
11:10～12:10	101教室	若者の主権者意識を向上させるには??	高校生実行委員会1-2提言チーム	37名(1名)
	102教室	国際機関で働く ～世界銀行とは? 求める人材とは? 必要な準備は?	世界銀行	30名(3名)
11:10～13:20	503教室	【2コマ連続】ウェルビーイングの向上を体験しよう! カードゲーム from Me体験会	大阪大学社会リレーションインシヤティブ (株)福笑楽美	17名
12:20～13:20	101教室	難民支援のリアル～徹底解説! ウクライナ危機&北朝鮮問題の現場	国際NGO難民を助ける会 (AAR Japan)	26名(2名)
	102教室	日本に住む1-2の皆さんへ! 海外のNGOからビデオメッセージが届いています☺	特定非営利活動法人関西NGO協議会	18名(7名)
13:30～14:30	101教室	英語と世界を同時に学ぶ体験授業: 世界のことを知りたい英語が好きな学生向け	一般社団法人EIGC	28名(3名)
	102教室	パレスチナ自治区の現状と教育問題について考えよう! インタビューによるディスカッションあり	関西NGO協議会2023年度インターン	33名(2名)
	503教室	ロールプレイで学ぶマイクアゲセッション (日常生活にひそむ偏見や差別)	(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)	21名
14:40～15:40	101教室	私達のお買い物は、持続可能? ～未来のお店を考える～	国際環境NGOグリーンピース・ジャパン	20名(1名)
	102教室	1-2が考える! 日本の難民問題と私たちが目指す共生社会	特定非営利活動法人RAFIQ (公社) アムネスティ・インターナショナル日本・関西連絡会	22名(2名)
	503教室	日本と世界のフェアトレード・スクール	日本フェアトレード・フォーラム小吹岳志氏	24名
11:20～12:30	2階ホール	高校生によるSDGsアクションプランコンテスト	特定非営利活動法人関西NGO協議会	54名
11:30～16:00	2階ホール	探究活動発表エリア	特定非営利活動法人関西NGO協議会	77名
15:45～16:00	101教室	閉会式	高校生実行委員会	73名

😊 ブース出展一覧・会場の様子

ブース出展一覧

プロジェクトアブロード・ヨーロッパ・リミテッド	日本労働組合総連合会 大阪府連合会	(一財) アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪)	国際環境NGO グリーンピース・ジャパン	アジア福祉教育財団 難民事業本部	(公財) アムネスティ・インターナショナル日本関西連絡会
(特活) CODE海外災害援助市民センター	(一社) コミュニティ・4・チルドレン	NPO法人日本アジア球友団 ラリグラス	認定NPO法人 Future Code学生部BYCS	(公財) 大阪YWCA	(公財) 大阪YMCA
(公社) アジア協会アジア友の会	国際協力機構関西センター (JICA関西)	認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	ウータン・森と生活を考える会	(特活) 関西NGO協議会	

会場の様子



関西地域の様々な高校の15名が活動しました

高校生実行委員会は、プログラム企画から当日の運営までを担う高校生たちことで、ワンフェスユースにおいて核となる存在です。

今年の実行委員は、2022年のワンフェスユースに参加し実行委員が活躍する姿を見て実行委員になった方が多くいました。

高校生だけでなく、大人の皆様にも、私たちが今どのように考え、活動しているのかを伝え、共に社会をより良くしていきたいという思いをもって活動しました。

何を伝えるか？

自分自身が「なぜワンフェスユースの実行委員になったのか？」言葉にしてみよう。

- 去年のワンフェスに参加した時に難民に興味を持つようになった。自分みたいに誰かのきっかけを作りたい！
- 去年参加した時に、実行委員の高校生がかっこいいと思った！留学に行けなくて何か挑戦したいと思った。
- 学校で受け身の授業ばかりだったから、自分でSDGsについて何かできることがないかなと思った！
- 推薦で他の同級生より時間がある中で何かできることはないかなと思った。高校生が参加できる他のイベントは大人主催のものが多い中、高校生が主体だったから興味を持った！
- 去年ワンフェスユースのグループワークに参加した時、担当してたのが同級生だった。自分も人に何か教える経験をしてみたいと思った！

▲実行委員同士で「なぜ自分が実行委員になったのか」を共有したスライド



▲実行委員会の様子

《主な活動 2023年7月～2024年1月》



高校生実行委員の出展

2023年度の高校生実行委員は、7名の「ブース出展チーム」、8名の「ユース提言チーム」に分かれて活動を行いました。

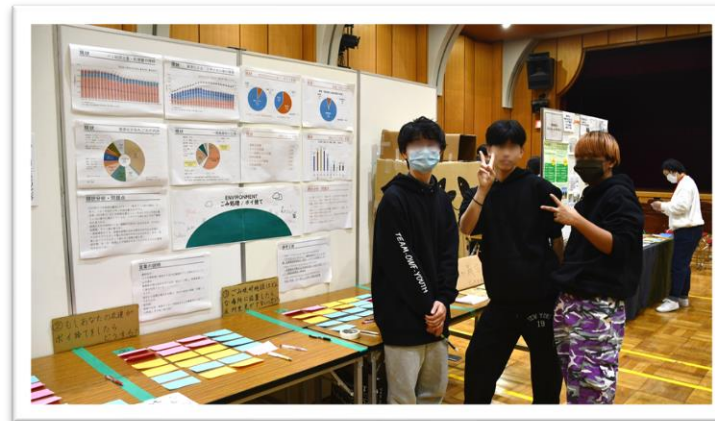
ブース出展チーム：日本のゴミ問題の現状を知ろう！

ブース出展チームでは、日本のごみの処分方法のうち約80%が焼却されている現状と、市町村レベルでごみの不法投棄（ポイ捨て）に対する意識の低さに課題意識を持ち、**ごみそのものを減らし、ポイ捨てを防ぐために「誰にでも捨てやすく、また捨てたくなる・分別したくないようなゴミ箱のアイデア」**を展示しました。

また、参加者がごみ問題を「自分ごと」として考えてもらえるように、以下の質問についてのクエスチョンボードを用いて、ごみに対する意識向上を図りました。

クエスチョンボードの質問

- ① ゴミ箱の分別は有意義だと思いますか？それはなぜですか？
- ② ポイ捨てを解決するために最も有効な解決策は何だと思いますか？
- ③ なぜポイ捨てが起きると思いますか？



ユース提言チーム：若者の主権者意識を向上させるには？



ユース提言チームでは、日本の若年層、特に10代における投票率の低さについて問題意識を持ち、スウェーデンの事例を参考に**日常的に気軽に政治について話す環境づくりへの取り組みのひとつとして、高校の必須科目のなかで模擬選挙を行うことを提言するシンポジウム**を開催しました。

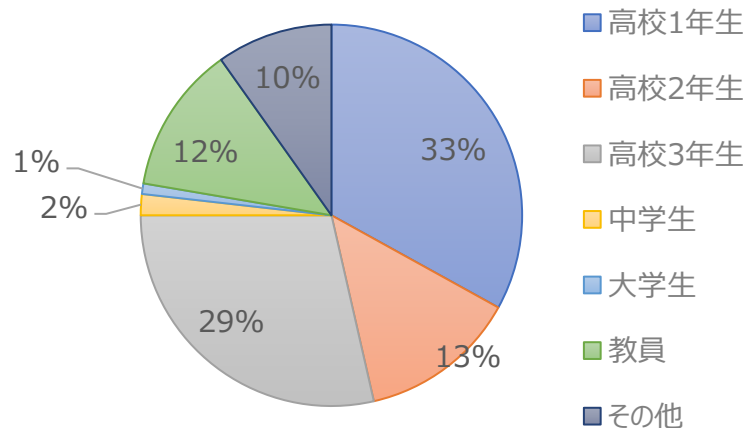
浦和大学社会学部准教授／模擬選挙推進ネットワーク 事務局長である林大介さんから、主権者教育の必要性や選挙における若者の1票のインパクトについて講演を頂きました。

その後、実行委員4名による日本の政治についての独自のマニフェストをもとに模擬選挙を実施しました。また、投票前に参加者同士で話し合いをする時間を持ち、同世代の友人と政治の話題をするという経験をしてもらいました。

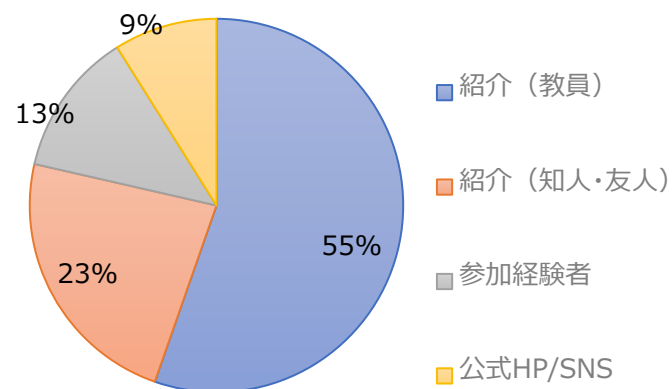
今回のシンポジウムを踏まえ、年度内には関西地域の任意の高校へ提言書を提出する予定です。

参加者・会場アンケート

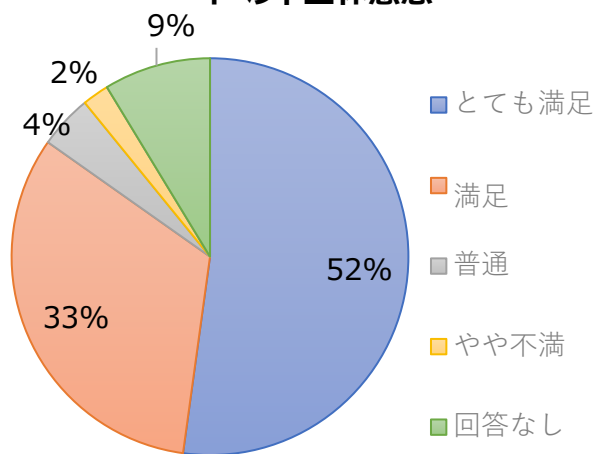
参加者内訳



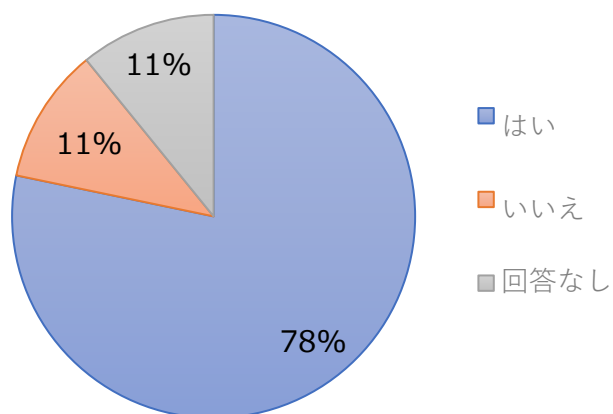
参加のきっかけ



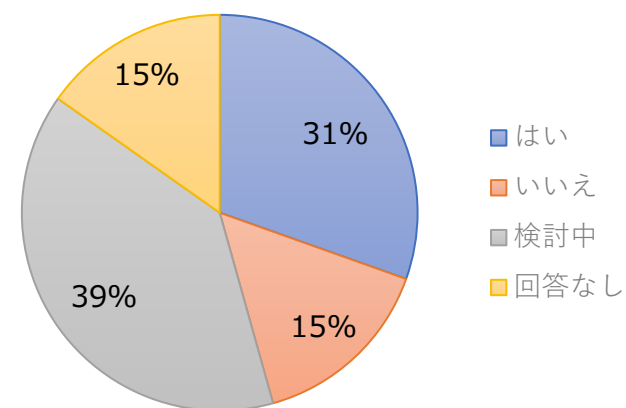
イベント全体感想



次年度の参加意欲



次年度実行委員への参加意欲



※ワンフェスユース2023参加者の皆様にアンケートを実施し、46名にご回答いただきました。

😊 会場参加者の声 (原文)

このワンフェスユース2023を通じて改めて自分が世界市民としての意識ができた

世界の現状(難民問題・性差別)で苦しめられている人々を改めて知る事ができました。今後はこれらの問題を軽く考えるだけでなく、重要なものとして学んで行きたいと思います。

自分の事ではないからと見て見ぬふりをするのではなく、グローバル化していくこの世界を生きる1人の人間として同じ重さの責任を持ち、今の状態を再認識し、自分に出来ることをしていきたいと思った

世界で起きている問題が様々な問題を通して、それぞれの価値感のある国同じでの意見交換が印象的だった。全てのプログラムが自分のためになったと実感した。

同世代の人と関わることができて良かった。他校の発表やNGOなど関わることが少ないので豊富な知識を得ることができていい経験ができました。

様々なブースを回って話を聞いたことで、難しくても考えて、それぞれが思いついたやり方で社会問題を解決しようとしていることが分かりました。私もこれから自分なりに考え、できることを見つけたらやってみようと思いました。

😊 ユースボランティア

ワンフェスユース2023では25名の高校生と、7名の大学生が当日のイベント運営サポートを行いました。

<ボランティアをした感想>

今回ボランティアに参加したことによって、大雑把にしか知らなかった世界の問題をより深くまで勉強することが出来た。また、それらの問題を解決するために沢山の団体が作られていたり、私と同じ高校生も動き始めていることを知り、とても刺激的で新しい経験となった。この経験を生かして、私自身も変えたい社会問題に目をつけ、実際に行動を起こそうと考えている。

このボランティアを通して、私は主体的に行動することの大切さを学びました。外国の子どもたちは、現状を打開すべく、自分に出来ることを探し、かつそれを実行できる主体性があり、それが大人を動かし、現状を変えたのです。「子どもだから××できない」と諦めずに頑張っている子どもたちの話を聞いて、私も行動を自分から起こしたいと思いました。傍観せず、積極的に介入する、という姿勢が大切だと思いました。



▲ボランティアの様子

😊 寄付・ご協賛いただいた皆様



日本労働組合総連合会
大阪府連合会（連合大阪）

😊 クラウドファンディングにご協力いただいた皆様

高校生がSDGsを考え、新しい自分に生まれ変わるイベントを開催したい
特定非営利活動法人関西NGO協議会



ワン・ワールド・フェスティバル for Youth
目標 : 50万円
締め切り : 12月17日



2023年11月17日（金）～12月17日（日）の期間で、
45名の方より、合計296,000円のご支援が集まりました。
また、会場での募金では、20,310円が集まりました。
あたたかいご支援ありがとうございました。

〈クラウドファンディングへご支援いただいたみなさま（敬称略）〉
※お名前の掲載を許可いただいた方のみ記載

岡島克樹、岡本真理子、河合将生、高橋美和子、三輪敦子、
山岸周平、小吹岳志、新居誠一郎、西山良作、服部優子、
石崎雄一郎、安里佳世子、横山泰治、吉椿雅道、窪田勉、
熊亮太郎、栗田佳典、恒本茉奈実、相澤順也、仲井友佳子、
熱田典子、武田かおり、武藤雅隆、木下聡、鈴木千花、濱上達也、
高橋悠太、小林直樹、石原達也、大石隆司、牧啓太、中和久

特定非営利活動法人 関西NGO協議会／
Kansai NGO Council
〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30 4階
TEL 06-6377-5144 FAX 06-6377-5148
E-mail: knc@kansaingo.net
URL: <http://www.kansaingo.net>